

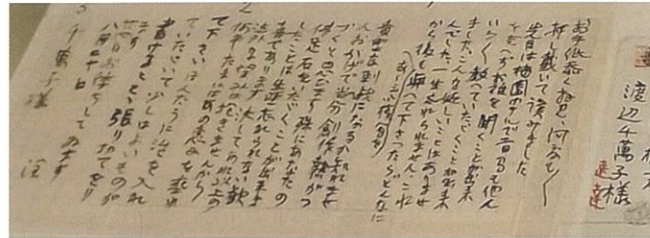
2025年度 展示年間スケジュール

谷崎没後60年「潤一郎、終活する～文豪谷崎 死への挑戦～」

春の特別展

会期 3月15日(土)～6月8日(日)

1965年7月、谷崎潤一郎は世を去る。79歳の誕生日を祝ったばかりであった。当時としては珍しいほどの長命だった文豪。晩年と呼ばれる、終わりの時を迎えつつある時期も長かったが、その間にも多くの名作・傑作・話題作を執筆し続けた。それは、作家として人としての人生の集大成であり、死への挑戦の営みでもあった。谷崎没後60年の春、文豪の「死へ挑んだ総括」の有り様を跡づける。



谷崎最晩年の肉筆書簡 (1963<昭和38>年8月20日 渡辺千萬子宛)

夏の特設展

「オン・ステージ～舞台の上の谷崎作品～」(仮)

会期 6月14日(土)～9月7日(日)

活字媒体である文学作品は、さまざまな視覚メディアに脚色されることも多い。映画・テレビドラマ等への映像化は、身近で接する機会も多くなじみ深いものだろう。一方、演劇をはじめ舞台作品となると、少々敷居は高くなるが、やはりそのナマの迫力には格別のものがある。現代劇、歌舞伎・文楽、レビューやオペラ、象徴性の高いパフォーマンス…。舞台の上で多様に開示された、谷崎文学の作品世界をご紹介します。



「恐怖時代」初演 番組と筋書

★文豪谷崎潤一郎の人生とその作品世界を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々等、多様な資料によって年代順にわかりやすく展示する通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設。

秋の特別展

「戦(いくさ)の谷間に咲く物語～大戦のはざま 文豪谷崎の覚醒～」(仮)

会期 9月13日(土)～12月7日(日)

かつて、「世界大戦」と呼ばれた、世界を揺るがす大戦争が2度にわたってあった。20代も半ばを過ぎた谷崎潤一郎が作家活動を本格化し始めたのは第1次世界大戦(1914～18)が始まる頃。戦後20年の平和の後、1939年に勃発した第2次世界大戦が日本の敗戦によって終結するのが1945年夏。当時60歳目前の谷崎は、生涯の代表作「細雪」執筆も下巻にさしかかっていた。30余年にわたる文豪実りの季節は、大戦のはざまにあった。戦争と平和の間で揺れ動く日本と世界の有り様を受けとめた、その作品世界を読み解く。



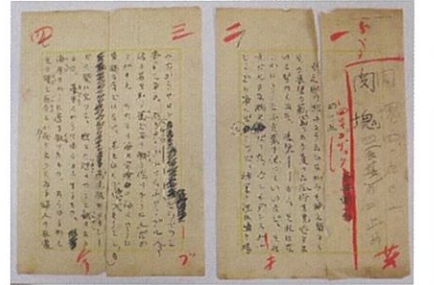
「細雪」の名場面「平安神宮の花見」(1940年春)

冬の特設展

「新人さん、いらっしゃい!～当館新着資料顔見世～」(仮)

会期 12月13日(土)～2026年3月8日(日)

芦屋市谷崎潤一郎記念館には、1万点をこえる資料が所蔵されている。それら数々の資料は、さまざまな歴史を背負いながら、当館にやってきた。そうした資料の中から、近年新たな仲間に加わった「新人さん」たちに集まってもらっての「顔見世」。ニュー・フェースたちそれぞれの魅力、その秘められた物語、一筋縄ではいかない個性を、存分にアピールしていただく。



谷崎潤一郎「肉塊」自筆原稿
<名古屋在住 個人蔵>

★文豪谷崎潤一郎の人生とその作品世界を、初版本や肉筆書簡・遺愛の品々等、多様な資料によって年代順にわかりやすく展示する通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設。

2025年度 展示予定 *展示名は、変更する可能性があります

| | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 展示入替期間 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 展示入替期間 |
|----|---|-----|-----|-----|--------|---|---------|----|----|--------|
| 展示 | 谷崎没後60年 春の特別展 「潤一郎、終活する～文豪谷崎 死への挑戦～」 | | | | 展示入替期間 | 夏の特設展 「オン・ステージ～舞台の上の谷崎作品～」(仮) 通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設 | | | | 展示入替期間 |
| 期間 | 3月15日(土)～6月8日(日) | | | | | 6月14日(土)～9月7日(日) | | | | |
| 展示 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 展示入替期間 | 12月 | 2026年1月 | 2月 | 3月 | 展示入替期間 |
| 期間 | 9月13日(土)～12月7日(日) | | | | | 冬の特設展 「新人さん、いらっしゃい!～当館新着資料顔見世～」(仮) 通常展「谷崎潤一郎・人と作品」に併設 | | | | |
| | | | | | | 12月13日(土)～3月8日(日) | | | | |

- 開館時間 午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝休日にあたる場合は、その翌平日)
年末年始(12/28～1/4)、展示入替期間
- 観覧料 特別展 一般600円 大高生400円 中学生以下は無料
- ◎団体料金(20人以上)は2割引
- ◎高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳、精神障がい者保健福祉手帳、療育手帳をお持ちの方、ならびにその介護の方1人は半額
- ◎観覧料は展示によって異なります



芦屋市谷崎潤一郎記念館

Tanizaki Junichiro Memorial Museum of Literature, Ashiya

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12番15号

TEL. 0797-23-5852 FAX. 0797-38-3244

e-mail ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp

ホームページ <https://www.tanizakikan.com/>

